

デイサービス ひろがりサロン

第3号

発行日：2007年7月23日

発行回数：年2回発行

発行者：デイサービスひろがりサロン

責任者：黒木まち子

連絡先：045-962-0603

活動場所：横浜市鴨志田地域ケアプラザ

2階多目的ホール

活動日：月曜日（第3月曜を除く）

楽しかった遠足

北鬼江 まち子

六月四日、スタッフ・利用者を含め十六名の参加で子どもの国へ初めての遠足に行きました。梅雨に入る前にと予定を立て二回の下見をしました。当日はお天氣にも恵まれ、おしゃべりや道草しながらゆっくりと散策しました。いつも昼食はスタッフの美味しい手作り料理ですが、今回はおにぎり弁当を注文して『おどぎの広場』でかわいい子供たちの声を聞きながら昼食を食べました。注文したおにぎりはちょっと物足りないと思いましたが、スタッフがおはぎを持参してくれましたので、皆で美味しくご馳走になりました。

その後、牧場にまわりミルクプラントの売店で口をベタベタにしながらソフトクリームをほ

おばりました。それから、園内バスに乗るグループと徒步に別れ、入り口で待ち合わせをしました。最後に中央広場でスタッフがチョークで字や絵を書いて子供の頃に戻ったようなひと時を過ごし、ゆつたりとした本当に楽しい一日でした。

振り返ると、西園地に転居した頃三十代だった私も還暦まぢかとなっています。週四日仕事をしていますがひろがりサロンに参加し、近隣自治会の方とも親しくなれました。これからも元気に暮らしていくために活動を続けて行きたいと思います。



厨房の光一点

市瀬 裕

月曜の朝十時過ぎ、
「おはよう御座います」

厨房の前で厨房スタッフと
利用される方々との爽やかな挨拶が交わされる。

その厨房の中から少し太く濁つた声での挨拶が聞こえる。『厨
房の光一点』である！

現職を去つて三年少々、多くの諸先輩から職を離れて三年も経つと『ボケ』てくるよ、と云われ内心動搖しながらも、趣味があるさと思いつつ、毎日何時間も続か無いことも分かり、改めて何をすべきか思案の日々が続く中、地域で多くの奥様たちが種々のボランティア活動を熱心に進めている様子を見て、何か手伝うことがあるのでは？と思う気持ちと、『地域とは？ボランティアとは？福祉とは？介護

とは？』言葉は何となく分かるのだが！

法律は、政治・行政は等、今まで接したことの無い戸惑いがあり、最初の一歩が中々踏み出

せないでいたが、何となく居す
らい家から、何となく誰からと
無く背中を押され飛び込んだボ
ランティア！！ボランティア新
兵の誕生である。

今、介護事業のあり方について新聞・TVをにぎあわせ問題になつていますが、介護を食い物にした事業者は罰せられるのがアタリマエですが、もともと自立支援の名のもとに昨年の四月に介護支援の法が改変され、介護者の増大にも関わらず、介護内容の見直しと大幅な予算の削減により、多くの施設の運営が、安い賃金とキツイ・キタナイ労働のため、折角取った資格保有の人材が他の企業に流失し慢性的な人材不足となつている

のが現状で、民間施設運営者が今後、同じ様な事件が無いとも云えないのが現状ではないので云えます。

自分の居所探しから早一年半が過ぎ、今では『厨房での光一点』として午前中厨房内での戦いを終え、全員が食卓に着き昼食が始まると、少しの時間の静けさのなか、食卓に並ぶ顔から何となく会話と微笑みが見られると“ホット”するのが新兵の思いであります。

食後の語らい、散歩、歌声等一日様々な過ごし方で、楽しく喜んで貰うことが出来たのか

な？



利 用 案 内

活動日時	月曜日(第3週を除く)10時~15時30分
活動場所	横浜市鴨志田地域ケアプラザ
対象	見守りを必要とする方(年齢制限なし)
料金	利用料 800円 食事 500円(昼食・おやつ)
プログラム	体操・ゲーム・昼食会・散歩・季節行事
その他	介護保険とは関係なく利用できます

活 動 予 定

2007 / 7 / 2, 9, 23
2007 / 8 / 6, 27
2007 / 9 / 3, 10, 24
2007 / 10 / 1, 8, 22, 29
2007 / 11 / 5, 12, 26
2007 / 12 / 3, 10, 24
2008 / 1 / 7, 14, 28

地球は丸かつた

(その一)

高山 好主

「三ヶ月程お休みします！」
と言つて昨年の十一月にピース
ボートの地球一周船の旅に出かけました。

船のスピードは遅い（時速約
三十五km）ので時差ぼけは発生
しません。特に西廻りで行くも
のは時差の影響はほとんど受け
ません。今回の旅では、ほぼ四
日に一回の時差が発生して一時
間遅らせます。（東廻りなら一時
間早めます。）

地球を一周すると二四時間遅
れることになります。これでは
実際の時間と合わなくなるため
消滅日を作つて一日早めて調整
します。

今回は二月一日の次の日が二月
四日になりました。二月三日は
節分のですが一日早く豆まき
を行つてしましました。

地中海を旅行してギリシアの
影響の大きいことに驚きました。
イタリアのナポリは紀元前六

世紀末にギリシアの植民地とし
て作られた都市だそうです。ギ
リシア語で新都市を意味する
「ニアポリス」が訛つて（？）
ナポリになつたそうです。東京
の新宿みたいなものでしょ。

ギリシア語由来の地名はその
ほかにもあるようです。リビア
の首都トリポリもギリシア語の
トリポリス（三つの都市）に由
来するそうです。三つの都市は
東から順にレプテスマグナ、ア
エヤ、サブラダがありました。
この真ん中のアエヤが現在のト
リポリです。この三都市はローマ
時代にも繁栄していました。

トリポリは継続して都市だ
ったため遺跡は破壊されてしま
いましたが後の二つには今でも
残っています。特にレプテスマ
グナ（偉大なレプテス）は都市と
して規模が大きいこと、長年砂
に埋まつていて保存状態が良い
ことなどのため貴重な遺跡です。
当時、レプテス出身の人がローマ
皇帝になつたためレプテスの
地をローマと同じ大きさに作つ
たとのことです。（次号に続く）



私のシェフ修行

森川 早苗

忘れもしません（笑）。鴨中の
ブルーベリークラブの帰りに黒
木さんから「ひろがりのお手伝
いをしてくれない？」と、声を
かけられたのです。ふたつ返事
で「いいよ。」と、答えてから早
1年数ヶ月・・・。調理の手伝

（笑）

ここは、みんなに喜んでい
ただき自分自身も成長できる一
石二鳥の場なのです。



森川さんは前号で「ひろがりサ
ロンに参加して」を書かれた花穂
さんのお母さんです。

にかけたり、新メニューを作つ
たときは家族に「ひろがりにどう
かなあ？」と、感想を聞いた
りしています。

こうして「ひろがり」が確實
に私の生活の一部として定着し
つつあります。また、旬の食材
を目にし、四季の移ろいを感じ
る事もたびたびです。このよう
に、五感を働かせ、何種類かの
料理を並行して作り、時間まで
に仕上げる作業は、実は大変頭
を使つているそうです。ひろが
りのキッチンに来ればDSの脳
トレを買う必要はないのです。

出会いに感謝

中川和子

近所に住んでいるのに鴨志田ケアプラザに「ひろがりサロン」と言うディイサービスがあるのを八ヶ月前、黒木さんに声を掛けてもううまで知りませんでした。私は何か出来るのだろうと思いまがら、ある月曜日、緊張してケアプラザの部屋に・・・。ところが、スタッフの人達の明るい声が緊張感をほぐしてくれました。

いつも笑い声が絶えず、暖かい雰囲気が気持ちをほぐしてくれるのでしょう。

利用者さんからは、色々教えられることが多く、私のほうが元気付けられています。

ひろがりサロンは、楽しみがいっぱいあります。キッチンスタッフの心のこもったご馳走（昼食）はとても美味しい、ゆっくりと話をしながら皆で食べ

る時間は、笑い声もあちこちから聞こえ、心もお腹も満たしてくれます。

食後、天気の良い日には、自然に恵まれた寺家ふるさと村周辺を利用者さん達と腕を組みながら散歩をします。どんぐりを拾つたり、桜の花びらが舞う中を歩いたり、季節を感じながらの散歩は、とても気持ちが良いものです。散歩から帰ると、手作りのお菓子があります。

ハケ月、楽しいの一言です。今では、「ひろがりサロン」での出会いに感謝しています。これからもこの雰囲気を大切にしていきたいと思います。

楽しく笑いの絶えない暖かい雰囲気のこのひろがりサロンで一緒に過ごしてみませんか？



ホームページ は次のところにあります。
http://www.geocities.jp/hirogari_salon/
http://aoba-portal.net/group/hirogari_salon/
Googleで「ひろがりサロン」で検索できます。

* * * 編集後記 * * *

会報「ひろがりサロン」三号を届けます。皆さんのおかげで出来ました。

こどもの国に遠足に行つた日の夜に寺家ふるさと村に行つて蛍を見ました。七月の終わりにはヘイケボタルが見られるでしょう。

ひろがりサロンのホームページの改訂が間に合わなくてあたふたしています。三号が皆様に届くまでには何とかしようとしています。

(高山)

